

平成 29 年度ユネスコスクール年次報告書

1. 学校概要

学校名 岡山市立瀬戸中学校 (※正式名称を記載)

種 別 保育園・幼稚園 小学校 小中一貫※

中学校 中高一貫※注2 高等学校

教員養成大学 専修学校、各種学校

特別支援学校

その他 (例：小中高一貫)

※注1 義務教育学校を含む ※注2 中等教育学校を含む

所在地 〒 709-0861

岡山県岡山市東区瀬戸町瀬戸 4 4 4

E-mail setoc@city-okayama-ed.jp

Website _____

幼児児童生徒数 男子 179 名 女子 180 名 合計 359 名

幼児・児童・生徒の年齢 12 歳 ~ 15 歳

2. 報告期間

平成 29 年 4 月 ~ 平成 30 年 3 月

※報告書提出時点 ~ 平成 30 年 3 月末までの活動は、予定 (見込み) として記載ください。

3. 活動内容

※記入にあたっては、末尾の留意事項も確認ください。

(1) 活動の概要 (800 字程度 + 活動内容を表す写真数枚)

※チェック事項 1-1、2-1 に対応

Golden Glove High School との交流のあらまし

本校では平成 5 年度から、生徒の国際理解を進めていくことを目的として、オーストラリアのゴールデングローブ高校 (Golden Grove High School 以下 GGHS) と姉妹校縁組を結び、交流を行っている。

GGHS からは、教員のみでの来日の年と生徒 10 名程度と教員の来日の年が隔年である。オーストラリア教師は、来校中に日本の学校教育を学んだり、瀬戸中学校の生徒に英語で授業を実施したりしている。また、生徒が来日する年は、オーストラリアの夏休みの 1 月の長期休業中を利用し、瀬戸中を訪問する。オーストラリア生徒は瀬戸町内のホストファミリー宅に滞在し、日本の文化を体験している。現在本校からは教員も生徒もオーストラリアを訪問していない。GGHS の生徒は約 1200 人の在籍で日本語を受講している生徒は約 100 名いる。

今年度はGGHSの教諭1名が11日間[平成29年10月4日(水)～10月14(土)]来校。本校の授業日には英語の授業で国際理解教育を行ったり、スペイン語の教諭であったので、スペイン語の授業を行ったりした。朝の会や英語以外の授業にも参加し、日本の学校の様子を学んだり、子供たちとの交流の機会をもった。また、部活動に参加したり、給食をクラスで喫食する中で日本の文化や習慣を体験した。本校の生徒だけでなく教職員共々、交換教諭との交流を通して、日豪の文化や習慣の違い等を生きた英語を介して理解を深めることができた。

活動内容

交換教諭との交流



- ・ 給食での様子
- ・ 授業での様子



- ・ スペイン語の授業



(2) 活動の詳細

① 活動内容

※チェック事項 1-2, 2-1 に対応

ア. 活動分野 (複数選択可)

<input type="checkbox"/> 1. 環境	<input type="checkbox"/> 2. エネルギー	<input type="checkbox"/> 3. 防災	<input type="checkbox"/> 4. 生物多様性
<input type="checkbox"/> 5. 気候変動	<input checked="" type="checkbox"/> 6. 国際理解、文化多様性	<input type="checkbox"/> 7. 地域の伝統文化、文化遺産	<input type="checkbox"/> 8. 人権・平和
<input type="checkbox"/> 9. 健康・福祉	<input type="checkbox"/> 10. 食育	<input type="checkbox"/> 11. 持続可能な生産と消費	<input type="checkbox"/> 12. 貧困
<input type="checkbox"/> 13. エコパーク	<input type="checkbox"/> 14. ジオパーク	<input type="checkbox"/> 15. グローバルシチズンシップ教育 (GCED)	
<input type="checkbox"/> 16. ジェンダー平等	<input type="checkbox"/> 17. その他()		

イ. 活動を通して育みたい資質や能力 (複数選択可)

<input type="checkbox"/> 1. 批判的に考える力	<input type="checkbox"/> 2. 未来像を予測して計画を立てる力
<input type="checkbox"/> 3. 多面的、総合的に考える力	<input checked="" type="checkbox"/> 4. コミュニケーションを行う力
<input type="checkbox"/> 5. 他者と協力する態度	<input type="checkbox"/> 6. つながりを尊重する態度
<input checked="" type="checkbox"/> 7. 進んで参加する態度	
<input type="checkbox"/> 8. その他(自由記入)	

ウ. 活動時間 (複数選択可)

<input checked="" type="checkbox"/> 1. 教科の時間	<input checked="" type="checkbox"/> 2. 総合的な学習の時間
<input checked="" type="checkbox"/> 3. 特別活動等	<input checked="" type="checkbox"/> 4. クラブ活動
<input type="checkbox"/> 5. その他(自由記述)	

エ. 使用した教材 (書籍、ウェブサイト、パンフレットなど具体名)

New Crown English Series New Edition 1, 2, 3
--

- ② ユネスコスクールとしての活動を各校の教育課程（指導計画）にどのように位置付けているか。指導内容を適切に定め、指導方法の工夫改善に努めているか。（200～300字程度）

※チェック事項 1-2, 1-3 に対応

国際理解教育の活動として、授業や総合的な学習の時間、特別活動の時間を利用して取り組んでいる。英語の分野に限らず、色々な教科と協力して取り組めるよう工夫している。

- ③ 学校全体で組織的かつ継続的に活動に取り組める体制や環境をつくるため、どのような取組を行っているか。（200字程度）

※チェック事項 1-4 に対応

校内で定期的に国際交流委員会を開き、管理職、英語科、生徒会担当で取り組みの成果や反省を行い、次年度の取り組みに生かせるようにしている。

- ④ ユネスコスクールとしての活動の質の向上のための学校活動の評価（内部/外部）の方法・具体的内容と、それによって明らかになった成果と課題。（200字程度）

※チェック事項 1-5 に対応

オーストラリアの教員、生徒との交流が終わった後に、保護者、生徒、教員にアンケートをとり、集計した内容を職員会議で共通理解し、次年度の活動に生かしている。

- ⑤ ESD の推進拠点としての活動成果の発信方法・内容と、発信により得られた効果。(200字程度) ※チェック事項 2-2 に対応

学校便り，学年通信，学級通信を発行し，家庭や地域に発信している。

- ⑥ 学校以外の団体との協働・交流・ネットワーク形成（地域コミュニティ、大学、ESD活動支援センター、ESDコンソーシアムとの連携など）
(200字程度) ※チェック事項 2-3 に対応

特になし

- ⑦ 国内外のユネスコスクールとの交流・ネットワーク形成(200字程度) ※チェック事項 2-4 に対応

特になし

- ⑧ ユネスコスクールの活動による効果について、特筆すべき（特に強調したい）内容（例えば児童生徒、教員、カリキュラム・教授法、学校経営、地域・保護者との関係など様々な面でのポジティブな変化）（200字程度）
※チェック事項 2-5 に対応

オーストラリアの教員、生徒と直接交流をすることができる貴重な機会を通して、人とつながる楽しさや大切さを学び、卒業後も交流がつづいている保護者生徒がいたり、国際交流に関係する仕事に興味をもつ生徒も多い。

- (3) 平成 30 年度の活動計画（200～400字程度）

来年度はGGHSの交換生徒を受けれる年である。すでに連絡を取り合い日程や受け入れ生徒の人数も確認できている。今後も早めに連絡をとりあうことで、訪問中だけの交流ではなく、訪問前、後にもつながる交流ができるよう計画していきたい。教員訪問の際には、短い期間の中で、より深い交流ができるよう交流後の反省などを参考に、一層事前計画を綿密にしたい。次回の訪問では、本校がずっと続けてきている朝読書の時間に、各クラスで英語の絵本の読み聞かせをぜひ実施したい。また生徒たちにはもちろんであるが、本校教員や地域の方々にもESDの理念が深まるよう、多くの人に関わってもらえるような交流を考えられたらと思う。